

—平成22年度決算状況—

阿南町 予算の使途 (決算編)

平成22年度の決算が9月議会で認定されました。この平成22年度決算「阿南町・予算の使途」は、皆さんが納めた税金がどのように使われているか、また、まちづくりがどのように進んでいるかをお知らせするものです。

一般会計の歳入の内訳

◎自主財源とは

町が独自に確保できる財源。

◎依存財源とは

国又は県に依存する形で確保される財源。

(注) ()内は、構成比

町の貯金(基金) 18億6,564万円

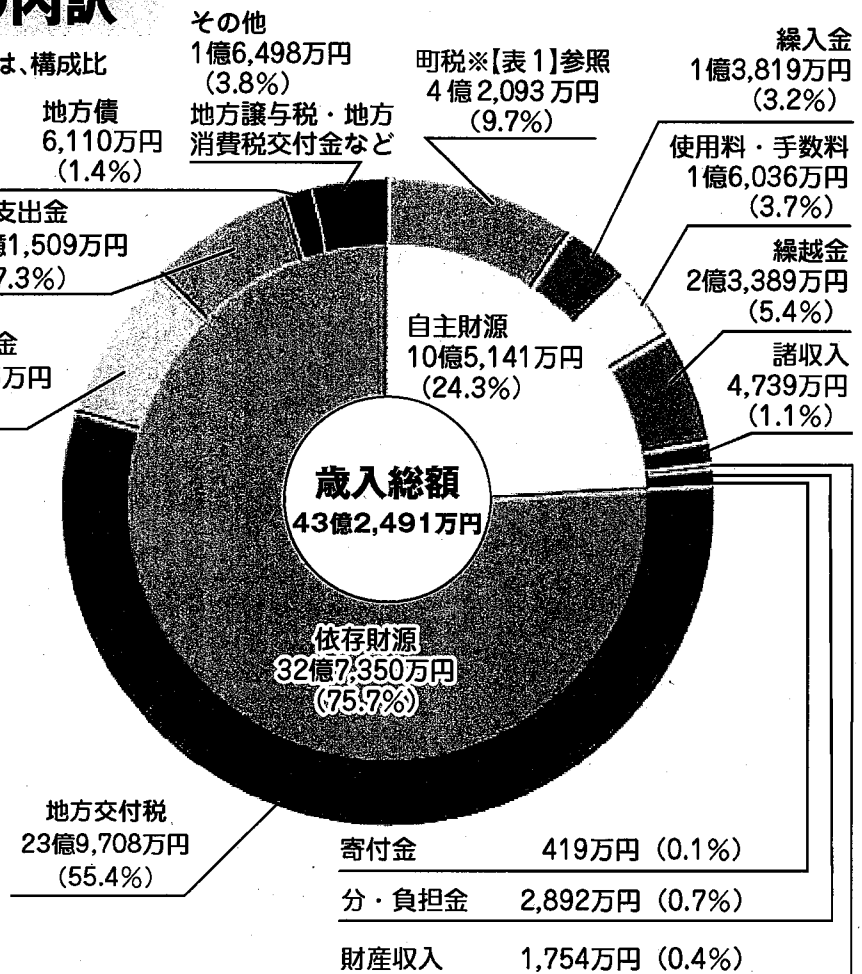
地方債償還や施設を維持するためなどに、様々な基金を積み立てています。

町民一人当たり 350,816円

町の借金(地方債) 32億2,721万円

町が、事業を行う上で不足する財源を調達するために、国の資金や民間資金を借り入れています。

町民一人当たり 606,846円



【表1】町税の内訳

町民税	個人	1億3,558万円
	法人	2,387万円
	計	1億5,945万円
固定資産税	土地	3,984万円
	家屋	9,743万円
	償却資産	8,894万円
	交納付金	189万円
	計	2億2,810万円
その他	たばこ税	1,477万円
	軽自動車税	1,445万円
	入湯税	416万円

会計別決算額

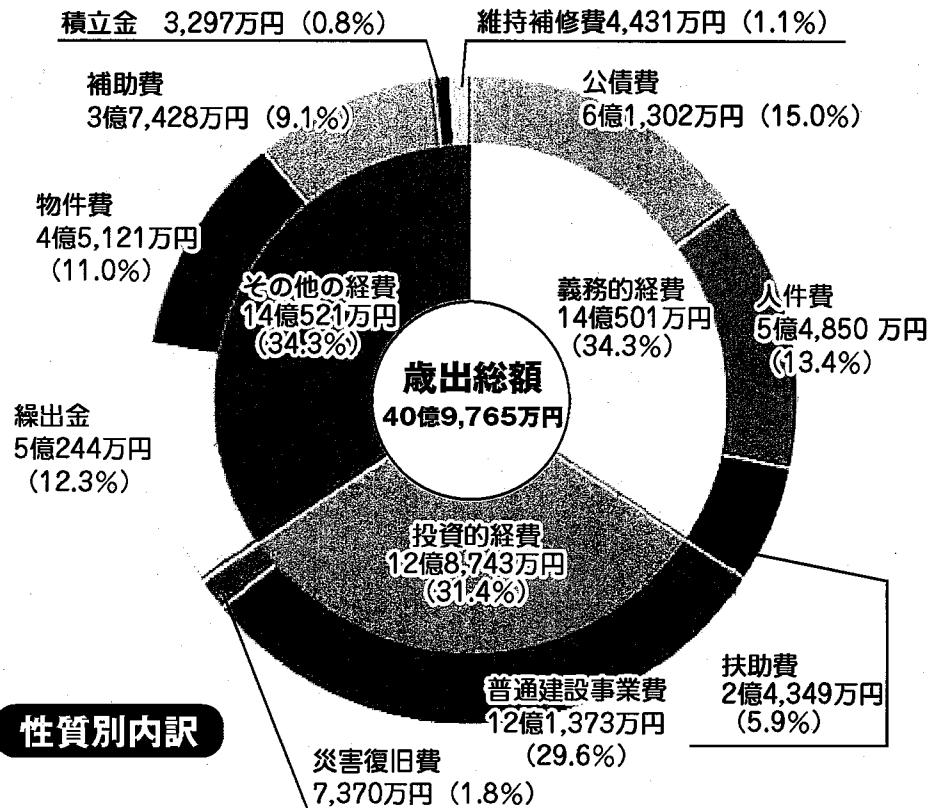
会計名	歳入額	歳出額	差引(繰越金等)
一般会計	43億2,491万円	40億9,765万円	2億2,726万円
国民健康保険事業	4億6,861万円	4億6,795万円	66万円
老人保健医療事業	0万円	0万円	0万円
後期高齢者医療事業	5,958万円	5,953万円	5万円
介護保険事業	7億3,830万円	7億3,792万円	38万円
簡易水道事業	2億1,328万円	2億1,143万円	185万円
下水道事業	1億8,854万円	1億8,829万円	25万円
合計	59億9,322万円	57億6,277万円	2億3,045万円

町独自の政策で行われた事業

南部公共バス運行事業	1,482 万円
交通弱者の足である路線バスの運行を行いました。	
温泉優待券交付事業	475 万円
町民の福祉を図るため、かじかの湯の無料入湯券を配布しました。	
集落コミュニティ振興交付金	1,073 万円
各集落へ振興交付金を交付し、集落の活性化や景観整備を図りました。	
和合会館改修事業	2,059 万円
和合地区の憩いの場となるよう、旧出張所の改修・整備を行いました。	
和合福祉村運営費	428 万円
和合福祉村の施設運営に必要な備品・設備の整備を行いました。	
出産・結婚祝金支給事業	240 万円
過疎・少子化対策として出産・結婚を祝福しました。	
健康な町づくり推進事業	664 万円
ふっと・ふっと事業など、足からの健康に取り組み、健康増進を図りました。	
大下条高齢者生活支援ハウス建設事業	1 億 84 万円
高齢者の安心安全のための生活基盤施設の充実を図りました。	
老人福祉施設等整備事業(阿南荘)	2 億 8,007 万円
敷地造成工事等を実施し、阿南荘改築工事にとりかかりました。	
地域優良賃貸住宅建設事業	9,808 万円
早稲田団地 2 棟(木造平屋) 2 戸と栗野団地 4 棟(木造 2 階) 4 戸の世帯用住宅を建設しました。	
有害鳥獣駆除事業	2,338 万円
有害鳥獣から農作物を守るため捕獲活動に対する補助を行いました。	
道路新設改良事業	2 億 7,576 万円
町道の拡幅・改良舗装を行いました。	
マイホーム建築資金補助事業	300 万円
住宅の新改築に補助を行い定住促進を進めました。	
新野小学校大規模改修事業	4,410 万円
学校施設の安全化を図りました。	
奨学金貸与事業	3,237 万円
高校生、大学生へ奨学金を貸与し、子育て支援策を充実させました。	

一般会計の歳出の内訳

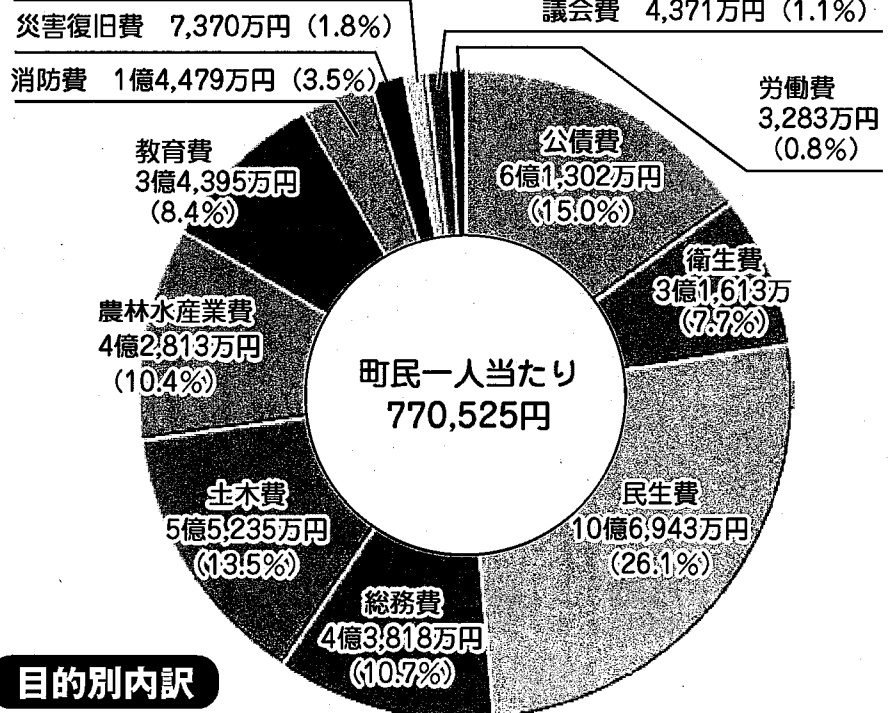
(注)()内は、構成比



性質別内訳

- ◎義務的経費とは
給与や借入金の返済など、支出が義務付けられており、極めて硬直性が高い経費。
- ◎投資的経費とは
道路や学校、住宅の建設など、社会資本の整備に支出する経費。

商工費 4,143 万円 (1.0%)



目的別内訳

地域活性化臨時交付金の使途

平成21年度補正予算において創設された「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」を使い、阿南町では平成22年度に次の事業を行いました。

◇地域活性化・きめ細かな臨時交付金 1億60万円

交付金を活用した事業	総事業費
阿南第一中学校と巾川にバス停を建設しました。	161万円
浅野、横林、上和合地区に防災ヘリポートを整備しました。	674万円
役場庁舎の書庫の増築、改修工事を行いました。	1,583万円
富草保育園にプールを建設し、富草小学校と新野小学校のプールを修繕しました。	945万円
町道、農道、林道の修繕を行いました。	7,383万円

阿南町の財政健全化判断比率を公表します

財政健全化判断比率の算定を行いました。阿南町では国が定める早期健全化基準を下回る比率となっており、おおむね健全な運営といえます。また、平成21年度との比較では、起債発行の抑制により将来負担比率が大幅に下がっています。

項 目	説 明	阿南町の比率		健全化基準
		H21	H22	
実質赤字比率	一般会計が赤字のとき、赤字額の標準財政規模に対する割合	—	—	15.0%
連結実質赤字比率	一般会計及び特別会計の合算で赤字のとき、赤字額の標準財政規模に対する割合	—	—	20.0%
実質公債費比率	起債の元利償還金へ、町が負担する一般財源の標準財政規模に対する割合（3ヵ年の平均）	12.9%	10.8%	25.0%
将来負担比率	将来負担すべき実質的な負債総額の標準財政規模に対する割合	5.4%	—	350.0%

※実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率については、赤字がないため「—」で表示

※標準財政規模は標準税収入額等＋普通交付税＋臨時財政対策債発行可能額で計算されます。

※公営企業会計（簡易水道、下水道）資金不足比率は、赤字がないため表に示してありません。

町職員の給与等の状況を公表します

職員の任免、定員管理の状況

1 職員の任免の状況

◎新規採用: 5人(H23.4.1付) ◎退職: 7人(H23.3.31付)

2 部門別職員数の状況（各年4月1日現在）

年度	一般行政								特別行政	公営企業等			合計
	議会	総務	税務	農林	商工	土木	民生	衛生	教育	水道	下水道	その他	
22年度	1	16	3	9	2	5	20	5	8	1	1	2	73
23年度	1	14	4	9	2	5	18	6	8	1	1	2	71
比較	0	△2	1	0	0	0	△2	1	0	0	0	0	△2

（注）職員数は一般職に属する職員数です。

3 一般行政職の級別職員数の状況 (平成23年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
標準的な職務の内容	主事補 主事	主任	主査 係長	課長補佐	課長	困難な事務を 分掌する町長 が定めた課長	
職員数	3	7	24	12	4	1	51
構成比	5.9%	13.7%	47.1%	23.5%	7.8%	2.0%	100.0%

(注) 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。

給与の状況

1 人件費の状況 (一般会計決算)

区分	住民基本台帳人口(各年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率B/A
21年度	5,441人	4,391,979千円	96,481千円	555,770千円	12.65%
22年度	5,318人	4,097,649千円	77,246千円	548,500千円	13.39%

(注) 人件費には、特別職、各種行政委員等に支給される給与・報酬など全てが含まれています。

2 職員給与費の状況 (一般会計決算)

区分	職員数 A	給与費				一人当たりの給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
21年度	70人	235,150千円	34,328千円	89,667千円	359,145千円	5,131千円
22年度	69人	244,573千円	34,913千円	86,855千円	366,341千円	5,309千円

(注) 職員手当には退職手当は含まれません。

3 ラスパイレス指数の状況 (各年4月1日現在)

区分	H17	H22	(参考)
阿南町	88.0	89.6	県下80市町村のうち 阿南町は低い方から 7番目です。 県内最高/上田市100.0 県内最低/王滝村85.6
類似団体平均	92.5	94.7	
長野県	93.4	98.1	
国	100.0	100.0	

(注) ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す数値です。

5 一般行政職の初任給の状況 (平成23年4月1日現在)

大学卒	172,200円
高校卒	140,100円

4 一般行政職の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況 (平成23年4月1日現在)

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
阿南町	43.3歳	307,288円	332,306円
長野県	45.6歳	352,827円	389,151円
国	41.9歳	325,579円	395,666円
類似団体平均	43.5歳	322,474円	348,566円

(注) 1 「平均給料月額」とは、職員の基本給の平均です。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当などの諸手当の額を合計したものです。

3 長野県・国・類似団体の数値は平成22年4月1日現在の数値です。

6 特別職の報酬等の状況 (平成23年4月1日現在)

区 分	給 料 月 額 等				期末手当 (平成 22 年度支給割合)
	4 月分	5月以降支給額	下伊那郡内の最高／最低額		
町 長	551,700円	613,000円	720,000円	413,000円	6 月…1.4 5 月 12 月…1.5 0 月 合計 2.9 5 月分
副 町 長	486,900円	541,000円	607,000円	484,000円	
教 育 長	415,800円	462,000円	535,000円	302,000円	
議 長	228,000円	228,000円	270,000円	139,000円	6 月…1.6 0 月 12 月…1.5 0 月 合計 3.1 0 月分
副 議 長	164,000円	164,000円	209,000円	94,000円	
議 員	143,000円	143,000円	190,000円	83,000円	

(注) 1 平成22年度特別職報酬等審議会の答申に基づき、平成23年4月に、町長△10%、副町長・教育長△5%の給料引き下げを行いました。

2 町長、副町長、教育長の4月給料支給額は、町税等の不納欠損処分に伴ない10%の減額を行いました。